

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、既に匿名化したデータの分析が行われている場合を除いて、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	誤嚥性肺炎患者の生存時間とその予測因子に関する後ろ向きコホート研究
研究責任者	総合診療内科 本田優希
研究実施体制	聖隷浜松病院 浜松医科大学
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023年 3月 31日
対象者	2009年4月から2014年9月までの間に当院に誤嚥性肺炎で入院した患者
研究の意義・目的	<p>誤嚥性肺炎患者の増加は今後高齢化がますます進行する日本を含む多くの先進国において、患者やその家族および介護者、またヘルスケアシステム全体にとって大きな課題となっています。嚥下機能が低下した患者のケアにおいては、経口摂取による誤嚥リスクを踏まえた栄養摂取方法の選択、退院後の介護や療養先の選択といった意思決定およびそれらを含むアドバンスケアプランニングを要します。</p> <p>しかし、誤嚥性肺炎患者の長期生存時間およびその予測因子に関するエビデンスはほとんど存在しないため、意思決定およびその支援に困難が生じていると考えられます。</p> <p>そこで、本研究では誤嚥性肺炎患者の生存時間やその予測因子を明らかにすることで、患者・医療者にとって意思決定およびその支援の際の有用な判断材料となり、また今後のさらなるエビデンスの創出に寄与することが期待されます。</p>
研究の方法	<p>対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。</p> <p>年齢、性別、BMI、基礎疾患、PS、入院時のバイタルサインや血液検査、CT所見、食事形態および主たる栄養摂取方法、嚥下評価および嚥下リハビリテーション、入院病棟および診療科、入退院日、入院前の生活場所および退院後の療養先、生存あるいは死亡（死亡の場合は死亡日）。</p> <p>生存・死亡が不明な患者についてはご家族あるいは退院先の施設や病院に電話連絡して確認する場合があります。</p> <p>患者氏名等個人が特定できる情報は含まない形でExcelや統計ソフトを用いてデータの保存、解析を行います。研究終了まで研究責任者の管理の下、外部に漏えいすることのないよう適正に保管します。廃棄する際には、個人を特定する情報が記載されていないことを確認した上で適正に廃棄します。</p>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

係る手続き	
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 総合診療内科 本田優希 TEL:053-474-2222(代表) 総合診療内科外来 9:00~17:00 平日